

ペプチドシーケンスサービス

精製したタンパク質・ペプチドのアミノ酸配列を、エドマン分解法を用い、N末端側から1残基ずつ順次同定します。質量分析のようにデータベースに依存しないため、配列情報が乏しいタンパク質の解析にも適しています。下記の様な試料のN末端アミノ酸配列を確認する際にご利用ください。

化学合成されたペプチド

単離・精製したタンパク質

未知タンパク質

リコンビナントタンパク質

プロセッシングされたタンパク質

業界最安値水準で、高品質ペプチドシーケンスサービスをご提供しております。

基本料金
(税別)

1検体(5残基まで) **¥48,000**
6残基以降は1残基につき **¥4,500**

例:1検体10残基の場合 ⇒
48,000円+4,500円×5 = 70,500円(税別)

※10 pmol以上、PVDF膜もしくは液体サンプルでお願いします。

オプション料金
(税別)

脱塩・濃縮(ProSorbによる) **¥15,000**
システイン残基検出(還元アルキル化) **¥30,000**

販売店

富士フイルム 和光純薬株式会社

本社 〒540-8605 大阪市中央区道頓町三丁目1番2号 TEL:06-6203-3741 (代表)
東京本店 〒103-0023 東京都中央区日本橋本町二丁目4番1号 TEL:03-3270-8571 (代表)

●九州営業所 ●中国営業所 ●フリーダイヤル 0120-052-099
●関西営業所 ●横濱営業所 フリーアクセス 0120-052-808
●関東営業所 ●東北営業所 試薬URL: <https://labchem.wako-chem.co.jp>
●北海道営業所

■FUJIFILM Wako Chemicals U.S.A. Corporation ■FUJIFILM Wako Chemicals Europe GmbH
1600 Bellwood Road, Richmond, VA 23237, USA Fuggerstraße 12, 41468 Neuss, Germany
TEL: +1-804-714-1920 FAX: +1-804-271-7791 TEL: +49-2131-3111-0 FAX: +49-2131-311-100

Online Catalog: www.e-reagent.com

受託元

株式会社 **ニッピ**

バイオ・ケミカル事業部

〒120-8601 東京都足立区千住緑町1-1-1

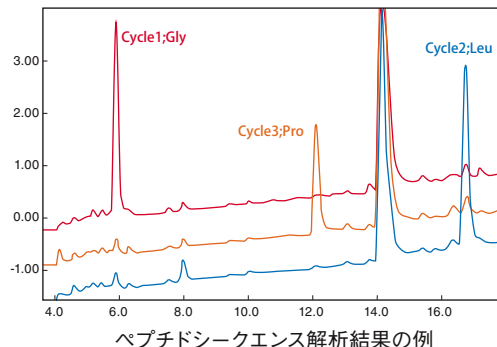
<https://www.nippi-inc.co.jp>

TEL: 03-3888-5184 FAX: 03-3888-5136

お問い合わせ先: <https://www.nippi-inc.co.jp/inquiry/pe>

ペプチドシーケンスサービスのご利用方法について

単離・精製したタンパク質や、リコンビナントタンパク質等のN末端アミノ酸配列を確認する際に、弊社受託分析サービスの利用をご検討ください。試料はPVDF膜、液体の形態にて分析可能です。サービスをご希望の際は、下記の手順に沿って試料を準備し、お近くの販売店までご注文ください。お急ぎでの分析を希望される場合、早めにその旨もご連絡ください。



PVDF膜転写試料の準備方法

1) ブロットングについて

目的のタンパク質をブロットング装置によりPVDF膜に転写してください。転写緩衝液は、一般的なもの（例：3.03 g/l Tris、14.4 g/l グリシン、10-20%メタノール）やその他の緩衝液（アミノカプロン酸、ホウ酸）でもかまいません。5万以上の分子量のバンドを転写したい場合はメタノール濃度を低めにした方が効率良く転写されます。十分にPVDF膜に転写されていれば問題ありません。

2) 転写後の操作について

1. 転写済みのPVDF膜を0.1%クマシーブリリアントブルーR250、50%メタノール溶液に浸漬します。
染色液は使い回したものを使用しないでください。また、容器とピンセットも清浄なものを使用してください。
2. 1分間程度緩やかに振盪し、膜全体が染まったら、染色液を捨てます。
3. 50%メタノールを加え、30秒間程度緩やかに振盪した後、液を捨てます。
4. バックグラウンドが脱色され、タンパク質のバンドが見えるまで3. の操作を繰り返します。
タンパク質のバンドが消えないように注意してください。
5. 新しい容器に膜を移し替え、超純水（ミリQ水）ですすぎます。1分間程度振盪した後、液を交換します。
これを10回繰り返してください。すすぎはとても重要な工程です。
6. 濾紙上でPVDF膜を乾燥させます。濾紙を交換しつつ、濾紙が濡れなくなるまで良く乾かしてください。
PVDF膜は濡れていると透明感がありますので、白くなるまで乾燥させてください。
7. 乾いたPVDF膜から、ディスポーザブルの剃刀で目的のバンドを切り取り、エッペンドルフチューブに入れて常温で保管してください。膜の乾燥が不完全でも、冷蔵保管であれば問題ありません。

ペプチドシーケンスサービスの注意点について

- ・ 必要最低試料量の検出限界値は10 pmolです。分子量の大きなタンパク質程必要グラム数が多くなります。
- ・ 溶液を分析する際は、試料以外の不揮発性成分を含まなければそのまま分析可能です。
緩衝液、塩類を含む場合は脱塩処理（¥15,000（税別））が必要です。
- ・ システインは分析時に分解される為、検出を希望する際は還元アルキル化（¥30,000（税別））が必要です。
- ・ 分析試料に複数のタンパク質が混合している際は、複数候補となり、配列の特定が困難になる場合があります。
- ・ N末アミノ酸残基がアセチル化、ピログルタミル化修飾されている場合、分析自体行う事ができません。
- ・ アミノ酸残基が糖鎖修飾されている場合、そのサイクルのみ検出できず、ブランクとなります。
- ・ アミノ酸残基がリン酸化修飾されている場合、リン酸化スレオニンとリン酸化チロシンは検出できず、ブランクとなります。リン酸化セリンは感度が落ちますがデヒドロアラニンとして検出可能な場合があります。